

6-16 宝立観測室における地殻ひずみの観測

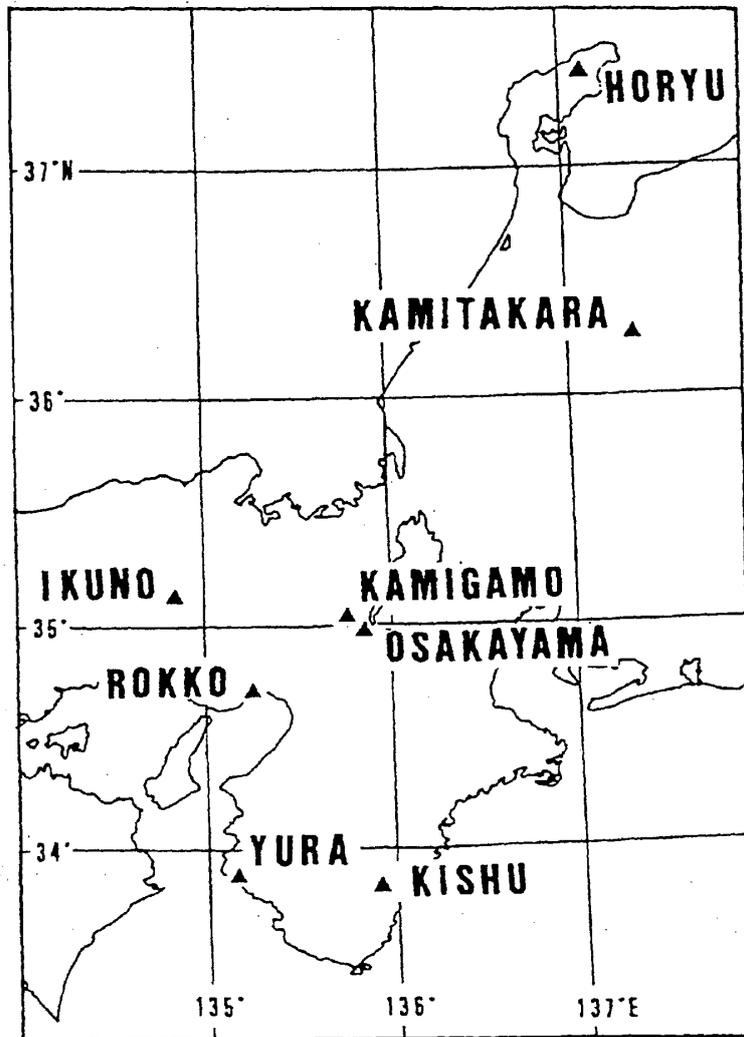
Observation of Earth Strains at Horyu

京都大学防災研究所

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

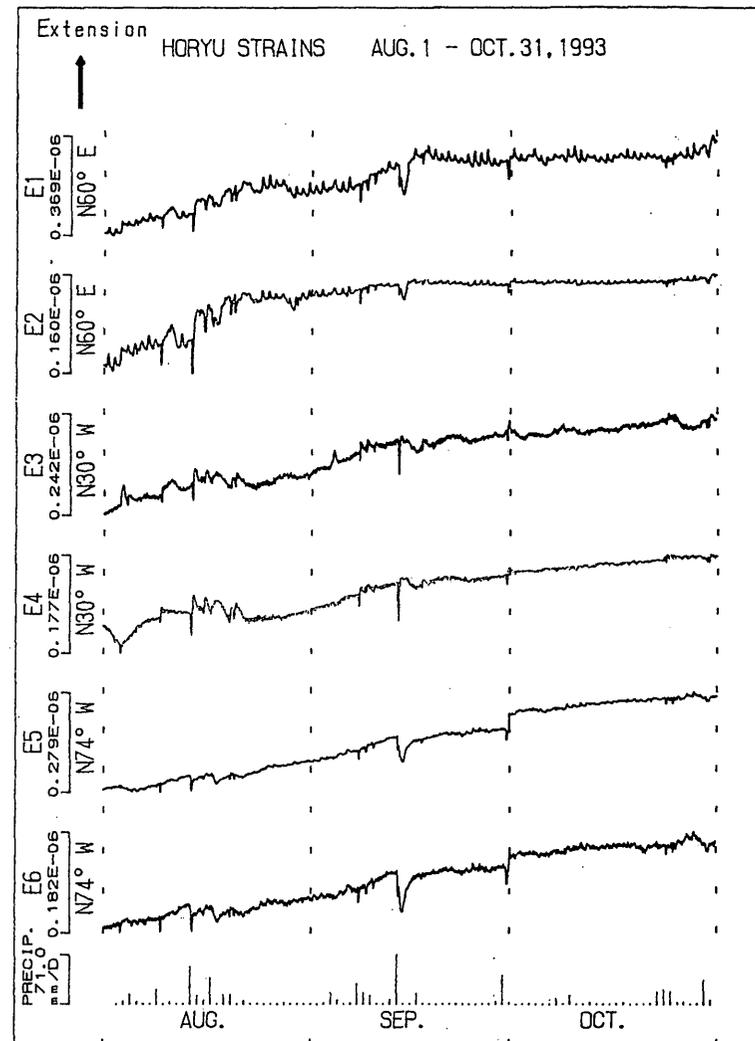
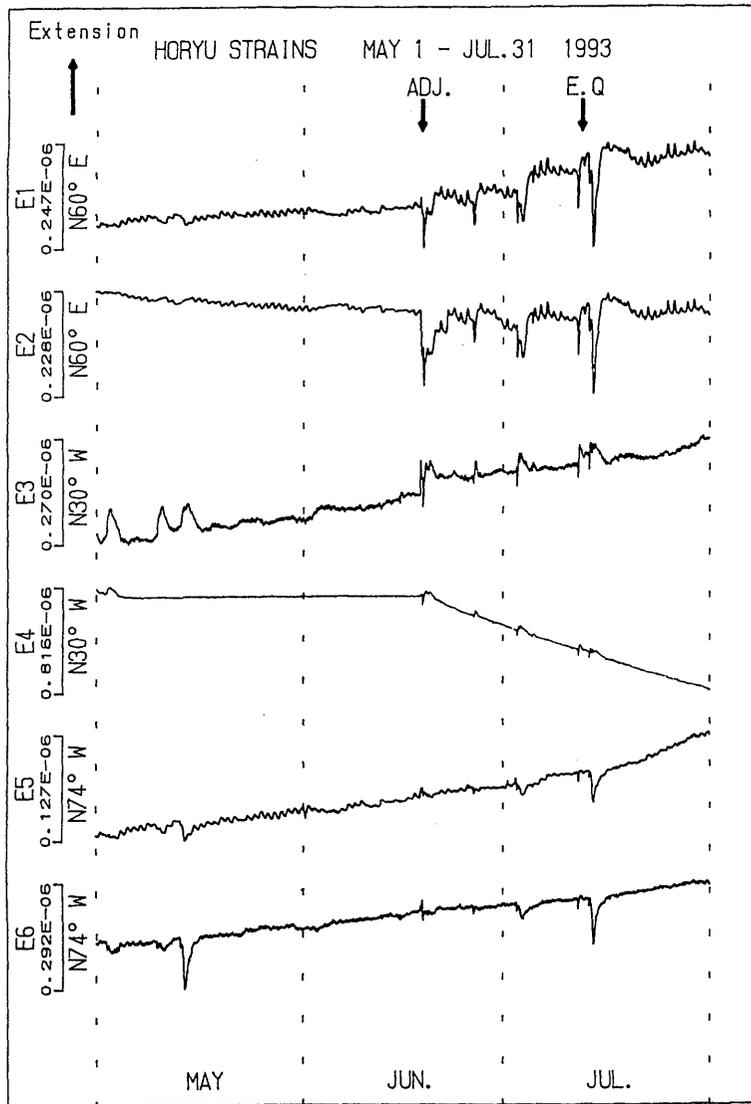
能登半島の北端に近い石川県宝立町の宝立観測室において1993年5月1日から10月31日までの期間に観測されたひずみ変化を示す。

能登半島沖地震（1993年2月7日，M6.6）以後，E 3成分では降雨の影響が逆に現れるようになった。また，E 5およびE 6成分では地震後に降雨の影響がかなり小さくなってしまった。地震によるこれらの影響は，現在までのところ元に回復する傾向はみられず，そのまま現在も継続している。これ以外に，地震以後今日まで特筆すべき余効現象とか異常現象は認められない。



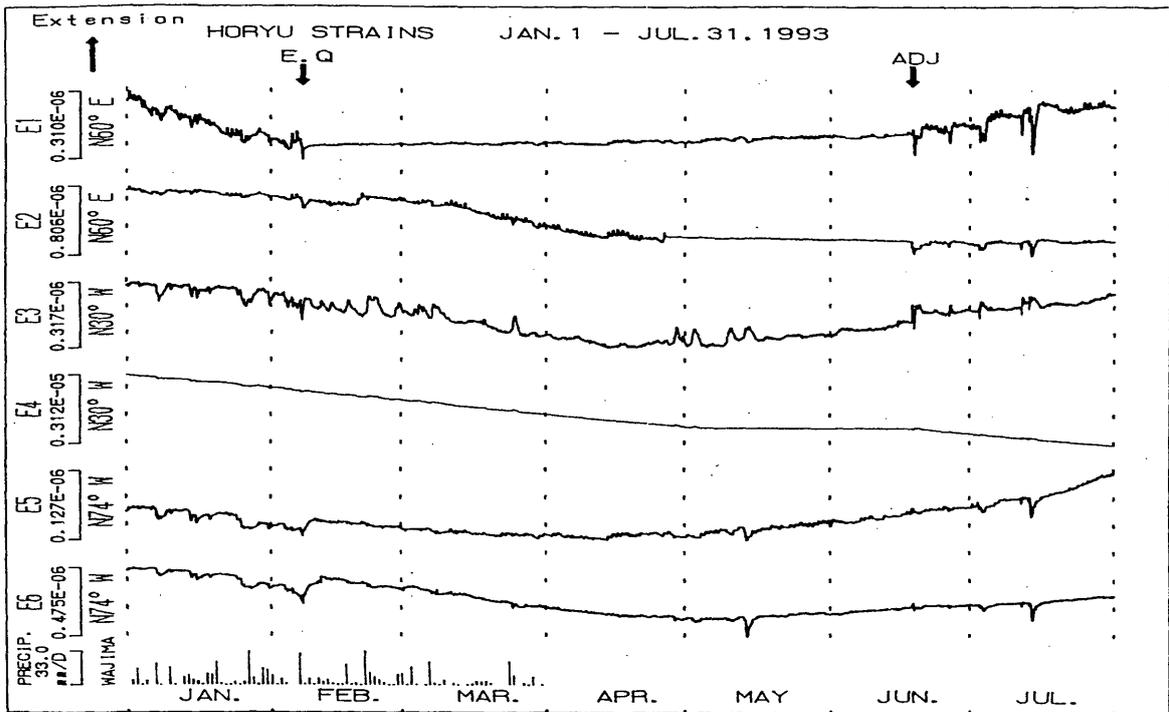
第1図 位置図

Fig.1 Location of Horyu station



第2図 1993年5月から10月までの歪変化

Fig.2 Strains observed at Horyu in the period from May to October 1993.



第3図 能登半島沖地震（1993年2月7日，M6.6）前後のひずみ変化

Fig.3 Strain changes before and after the M6.6 Notohanto-Oki earthquake on Feb. 7, 1993.